

コース 3 いかすち やま 雷 山

リーダー CL S/T SL M/O
 実施日 平成29年4月6日(木)
 天候 曇りのち晴れ グレード A
 参加者 26人(男性 4 女性 22)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅西口		8:40	予定より10分遅れて出発
村松公園	9:25	10:35	靴を履き替え公園の展望を散策
永谷寺～雷山登山口	10:40	11:10	永谷寺を見て雷山の登山口に入る
雷山山頂	12:10	12:50	昼食を食べて下山する
永谷寺	14:00	14:05	
水芭蕉公園	14:20	15:10	水芭蕉まで10分から15分歩く
新津駅西口	15:45		秋葉区役所前経由

山行等概要(幹事のコメント)

- 天気予報が変わり、曇り後晴れで風もなく穏やかな一日だった。
- 当日はキャンセルがあり、予定より10分遅れて出発する。
- 村松公園の桜はいつもより遅く、咲いていないため、予定を変更して展望台まで登る。階段のまわりに愛宕中学校の生徒さん達が植えた雪割草が色とりどりに咲いていて心をなごませてくれる。



雷山 山頂にて

- 展望台からは菅名連峰がきれいに見える。また、永谷寺を見学。鎌倉時代の建物と伝説のある墓石を見て登山口まで歩く。
- 登山口を11時10分に出発。頂上までの急登をゆっくり登る。去年は2合目から6合目までイワウチワが満開だったが今年はずぼみで残念。でも、6合目の間に2・3輪花が開いていた。また、ところどころにめずらしい釣り鐘が下がっており、皆笑顔となって和ませてくれた。

8合目にカタクリと白いイチゲの花が満開となっていた。

- 12時10分に頂上に着き、残雪期の大蔵山、川内山塊、白山等が良く見え、山々を見ながら昼食をとった。
- 12時50分下山。山小屋の中を見て、急登を下山、帰路は五泉の水芭蕉公園に向かった。水芭蕉は満開で、楽しませてくれた。
- 何事もなく、皆、無事帰路につけたので、リーダーとして安心しました。ご苦労様でした。



「雷 山」に参加して

(1655) A/U

三寒四温の時節、たまたま暖かな日が続き前日は20度超える気候、これはもう山登りに恵まれた日になる、ワクワクしながら準備、忘れ物が無いよう確認しながら当日を迎える。

入会した2年前の最初の参加が角田山だった。準備もまねごとだったので、下山したときは全身びしょびしょ、楽しみにしていたカタクリの花に目を向ける余裕がなかった。

「雨の日はもう山に登るまい！」トラウマになってしまった。

8時30分の集合は主婦にとって都合がいい。一通り朝の仕事を済ませ、新津駅西口へ。バスは予定より10分程遅れて出発。まずは足慣らしに・・・村松公園でバスを降り、愛宕山展望台へ向かう。地元の中学生在が植栽した雪割草が可愛らしく咲いていた。公園の桜は残念なことにまだつぼみにもいかず、昨年この日は満開だったそうで、自然はそう人間の思うようにはいかないものだ。公園から10分ほどバスに揺られ、登山口に到着。村松は城下町だそうで古い寺が多い。慈光寺しか知らなかったが、永谷寺という由緒ある寺が有り、境内で記念写真、雷城の説明を代表して読んでいただく。



永谷寺にて

いよいよ雷山へ・・・、6合目までは登りっぱなしであったが、先導がゆっくりした一步一步の足並みだったので、それほどきつくは感じなかった。要所要所には、熊へのお知らせのつもりなのか、廃品の電気釜の釜の部分が吊されておりアイディアというか、ユーモアがあって顔がほころぶ。時々さわやかな風が吹き、上に目を向けると木々の芽が膨らんで、心がほっとする。道中にはイチゲ、シヨウジョウバカマ、ネコメ、頂上近くにはカタクリの群生もあり、十分に目を楽しませてもらう。頂上は広々としてゆったりと居を構え楽しみな昼食、40分位しか休憩が無かったので（もっとおしゃべりしたかったわね～）という思いをよそに身支度、ゴミは落ちていないか、忘れ物は無いかチェックする。

下りで分かるかなりの急勾配、これがAコース？それでも晴れの日が続いていたので滑ることもなく40分程で下山。靴を履き替えバスで菅名岳の麓にある水芭蕉公園へ10分程で到着。予定より1時間程遅れていたのでもうゆっくり観光も出来なかったが、3万株もあるという水芭蕉を背景に記念写真を撮り、早々に帰り支度。



水芭蕉公園にて

20人参加予定が、26人にもなり幹事さん、係の方々大変だったと思います。先導もさることながら最後尾には必ずサブの方が着いていて、限られた時間の中で、できる限りのコース巡りをし、おまけに参加賞の返戻金有りと、細やかな気配りをありがとうございました。

リーダーと一緒に参加した皆さん、ありがとうございました。また一ついい思い出が出来ました。